

町田市における企業と連携した取組について

認知症カフェ

認知症の人やその家族、地域住民など誰でも気軽に立ち寄り、お茶を飲みながら相談をしたり、交流を深めることのできる場所です。

町田市では認知症カフェを「Dカフェ」と呼び、市主催のものだけでなく、地域住民や様々な団体により実施されています。



町田市主催の認知症カフェが目指すところ



■ どんな人に語りかけるのか？

早期診断＝早期絶望。認知症診断直後の空白の期間。介護サービスが必ずしも必要な状態ではない当事者やその家族。

■ どの様なカフェにしたいのか？

認知症の方やその家族にとって敷居が低く、気軽に参加しやすいカフェ。

■ カフェに期待する効果は？

一般の方が認知症に対するイメージを変えるきっかけになる。

⇒D カフェが日常の場所になることにより、認知症に対しての理解が進み、認知症の方が自分らしく暮らすことができる地域へ。

■ コミュニティ コネクション

コミュニティ コネクションは、スターバックスが店舗のある地域への感謝の気持ちを込め、地域をより元気にするために、店舗が主体的に行う活動です。

活動例：

- ・クリーンアップ
- ・キッズパーティー
- ・中学生の職場体験
- ・ライトダウン
- ・Dカフェ(認知症カフェ)



※現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を中止しております。

町田市とスターバックスのDカフェのはじまり



- 認知症の人の声「社会とのつながりを持ち、役に立つ実感を得たい」、「見守られるより自分たちにしかできること(自らの体験を伝える)で、地域貢献をしたい」を実現。
- スターバックス コーヒー 町田金森店 店長(当時)との出会い。
- 町田市内の幅広い世代に利用されているスターバックスでの開催により、日常的で身近なDカフェへ。
- 参加自由(申込不要)で、認知症の人やその家族が参加しやすい仕組み。
- 比較的客席が確保しやすい時間帯で開催(午前中の開催が多い)。
- 想いを持つ人と地域をつなぎ、より良い変化をつくり出せる主体的なコミュニティづくりへ。

Dカフェ（認知症カフェ）の開催状況



■ コンセプト

“特別な場所”から“日常の場所”へ

■ 具体的な内容

町田市が運営。2017年10月から町田市内のスターバックス全店で実施。進行役のファシリテーターと認知症当事者1名を受託先のNPOが手配。スターバックスは場所の提供、看板設置等を協力。

なお、2019年4月にスターバックス コーヒー ジャパン 株式会社と認知症の人に対するやさしい地域づくりに関する包括的連携協定締結。

■ 開催店舗/市内9店舗

町田金森店/ぽっぽ町田店/ルミネ町田店/町田パリオ店/
多摩境店/町田東急ツインズ店/小田急町田駅店/鶴川店
南町田グランベリーパーク店(※2020年11月～)

■ 実績

【2018年度】開催数96回、参加者945人(内当事者164人)

【2019年度】開催数90回、参加者921人(内当事者144人)

※現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を中止しております。

町田市
**実施したい事業の
目指すべき姿**

スターバックス
理念
(Mission & Values)



新たなコミュニティ、社会資源の創出

⇒Dカフェが日常の場所になることにより、認知症に対しての理解が進み、認知症の方が自分らしく暮らすことができる地域へ。

認知症になつても

いいこと
がくらむ
まちだ

